

2007年3月22日

2006年度、環境アセスメント学会奨励賞の選考結果報告

奨励賞選考委員会
委員長 原科幸彦

奨励賞の受賞者が以下の通りに決まりました。

- ・研究分野： 臼井寛二（国際協力機構）
授賞対象論文（主要なもの）：
フィリピン環境アセスメント制度における住民参加が紛争過程に与える影響に関する事例研究、『環境アセスメント学会誌』、1(2)、45-56.
- ・実務分野： 伴 武彦（(株)ポリテック・エイディティ）
授賞対象業績：
生態系評価手法の実務上の適用とその普及活動
- ・2007年5月12日（土）開催の総会において表彰を行います。
また、記念講演は、9月7日（金）、8日（土）に明治大学で開催の本年度大会において、行う予定です。

奨励賞授与候補者の選考の経過

- ・応募者数は5名（研究分野2名、実務分野3名）でした。
- ・評価の観点、既に公表している通り、以下の3点です。
個人としての「将来性」、
当該分野での「発展性」、
業績水準の「適切性」
さらに特記すべき事項があれば、それも考慮して評価しました。
- ・選考委員全員が評価した結果を持ち寄り、慎重に審議した結果、学術分野から1名、実務分野から1名の、計2名を候補者として選定しました。
- ・なお、選考経過の詳細や今後の課題等については、理事会や常務理事会、評議員会の議事録に記載されています。

以上